



2021年7月19日

各 位

会 社 名 セレディップ・ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 竹 内 在  
(コード番号：7318 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 門 担 当 役 員 小 谷 和 央  
(TEL 052-222-5306)

### 子会社における特別利益(補助金収入)及び特別損失(固定資産圧縮損)の計上に関するお知らせ

当社グループは、2022年3月期第1四半期において、下記のとおり特別利益(補助金収入)及び特別損失(固定資産圧縮損)を計上いたしますので、お知らせいたします。

#### 1. 特別利益及び特別損失の内容

- (1) 当社の連結子会社、三井屋工業株式会社は2021年5月に下記の新工場を竣工し稼働開始いたしました。  
・東北工場 山形県米沢市
- (2) 特別利益について  
当社の連結子会社、三井屋工業株式会社が2021年5月に新工場を竣工し稼働開始いたしました。上記新工場に係る補助金の交付に伴い、「補助金収入」として見込額571,876千円を特別利益に計上する予定であります。
- (3) 特別損失について  
上記の補助金の交付に伴い、圧縮記帳する会計処理を適用し、「固定資産圧縮損」として見込額563,176千円を特別損失に計上する予定であります。

注) 当社グループでは、自治体から受け取る補助金の会計処理について、固定資産圧縮損を計上し、対象となる固定資産の帳簿価額を直接減額し、毎期の減価償却も減額後の額をもとに計上する「直接減額方式」を会計方針として採用しております。その他、認められる他の会計方針としては、補助金を営業外収益又は特別利益に一括計上し、固定資産は補助金控除前の帳簿価額で計上する「剰余金処分方式」があります。「直接減額方式」を採用する場合と比較すると「剰余金処分方式」は、新たに新工場を新設した事業年度において、補助金が一時的な収益として計上される一方、売上原価及び販売費及び一般管理費に計上される減価償却費は「直接減額方式」に比べ大きくなります。

#### 2. 業績に与える影響について

本件が2022年3月期の業績に与える影響につきましては、2021年6月24日に発表いたしました業績予想に織り込み済みであります。

なお、今後の進捗状況等により、業績に影響を与える事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以 上